

観音前遺跡 第46地点

遺跡名	観音前遺跡
よみがな	かんのんまえいせき
調査地点	第46地点
主な時代	弥生時代後期（約1800年前）、奈良時代（約1300年前）
調査地	富士見市水子字城ノ下3069-1、3069-3
調査面積	640 m ²
調査期間	平成28年7月29日～8月19日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 弥生時代後期の竪穴住居跡10軒 奈良時代の竪穴住居跡2軒 時期不明の溝跡2条</p> <p>【出土した主な遺物】 弥生時代後期の壺、台付甕 奈良時代の須恵器坏、土師器甕</p> <p>【概要】 観音前遺跡は新河岸川と柳瀬川の合流地点に面した台地縁辺部に位置しています。今回調査された弥生時代後期の竪穴住居跡は10軒を数え、弥生時代後期に大きな集落であったことがうかがえます。竪穴住居跡では、炉や貯蔵穴が確認されています。</p> <p>また、確認された奈良時代の竪穴住居跡からは、捨てたと思われる甕の破片が多数見つかっています。また、そのうちの1軒は、住居を建て替えた痕跡が確認されています。</p>



弥生時代後期の竪穴住居跡



粘土を床に貼り付けて煮炊きを行った痕跡



奈良時代の竪穴住居跡



調査終了状況